

# Kuramoto

# Hidehiko

# 藏本秀彦 展

## たゆたう海に降る雨。そして光

### The rain that falls on the sea. Light in the hands.

2011年の大震災、その後の突発的な災害や社会の変動、今回のコロナ禍、そうした予測できない事象の中で生き、では美術に何ができるのかとアーティストは激しく思考している。思い出す、2002年頃ビョークが来日しテレビで、アメリカの同時テロの話の流れで社会に対してアートは力があると思うか、と質問された時に彼女は即座に、政治には二種類ある、国や世界のいわゆる「政治」と、自分の愛する人や出会う人とのように関わって生きていくのかという「政治」、後の意味での政治の中でアートは必ず機能し、それは前者の政治ともつながっていくだろうと答えた。その時には少し腑に落ちなかったその言葉の指すところが、今ではこの個展でも実現するように感じている。すなわち、美術は時間のたゆたう流れの中で繋がっていくもの、自己の表現と思うものも過去未来において育まれ辿られていき、例えば若い学生や、美術をあまり経験したことのない人たちにもゆっくりと浸透していくだろう。美術は即効性のある薬ではない。藏本が「ただ当事者性を獲得すべく作品を作る」と述べる時、それは当事者であることの特権を得るのではなく、当事者ではない、またはないと感じている多くの人を前にして語ることこそが豊かな文化の繋ぎを生むことを、直感で知っているからだと思う。そして、その光を多くの手に。

練馬区立美術館 副館長 毛利義嗣

1965 香川県に生まれる、  
1983 香川県立高松工芸高等学校美術科卒業  
1989 筑波大学大学院芸術研究科修士課程修了

#### グループ展

1988 「日本国際美術展」／東京都美術館（東京）他（'90）  
「第12回クラコウ国際版画トリエンナーレ展」（クラコウ、ポーランド）  
「第2回ブダペスト国際展～Art of today」／ブダペストギャラリー（ブダペスト）  
1992 「現代日本美術展」／東京都美術館（東京）他（'94～'97）  
1996 「第39回安井賞展」／セゾン美術館（東京）他  
1998 「VOCA'98 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」／上野の森美術館（東京）  
2003 「これって絵なの？」ピカソな気分でちょっとゲンダイビジュアル／香川県文化会館（高松）  
2009 「これって絵なの？」ピカソな気分でちょっとゲンダイビジュアル／香川県立ミュージアム（高松）  
2010 「塩飽本島晴れに耕す。そしてアート」～丸亀市笠島地区（丸亀市本島）  
2014 「旧藤田外科アートプロジェクト」（坂出）、2016 「坂出アートプロジェクト」（坂出）  
2016 「藏本利彦+藏本秀彦 絵画展～思考の断面、記憶の輪郭」／坂出市民美術館（坂出）  
2017 「CROSS POINT 交差する視線—20の表現」／香川県立ミュージアム（高松）  
2018 「高松市美術館コレクション+木村忠太とこぼれる光の中で」／高松市美術館（高松）  
2019 「アートオリンピック2019」／東京都美術館（東京）  
2020 「開館35周年—つながる2020」／坂出市民美術館（坂出）

#### 個展

1984 クリエイティブハウス アクアク（つくば）（'86'88'00）  
1990 ART SPACE 猿（福岡）  
1991 コバヤシ画廊（東京）（'93）  
1994 佐野画廊（香川）（'95'96）  
1995 ギャラリー山口（東京）  
2005 「第二の接吻 原画展 菊池寛原作」／（サンクリスタル高松 特別展示室）菊池寛記念館  
2007 「Rust planet」／gallry ARTE, Arte A' Ilotava Alta  
2009 「cotton」／gallry ARTE, Arte + saw（丸亀）  
2010 「時の原っぱ～Painting of time」／丸亀猪熊弦一郎現代美術館 造形スタジオ（丸亀）  
2011 「project FUKUSHIMA！」music cafe Mygo／（丸亀）（'12）  
2012 「それでも木漏れ日は」／花の蔵（観音寺）  
2014 「真鍮のドレス～brass dress」／ぎやらりい松尾（小豆島）  
2018 「目蓋と海」／あーとらんどギャラリー（丸亀）  
2020 「たゆたう海に降る雨。そして光」／Kinco.hostel+cafe（高松）

#### その他

1986 「御伽草子」ダンス 蟬丸、音楽 吉川洋一郎、舞台美術 藏本秀彦  
2000 「酸の花」ダンス 岩下徹、音楽 梅津和時、美術 藏本秀彦  
2004 「第二の接吻～菊池寛」挿画制作 全97点 四国新聞社企画  
2018 「これから美術と名指される（かも知れない）何か」トークイベント 水谷一企画

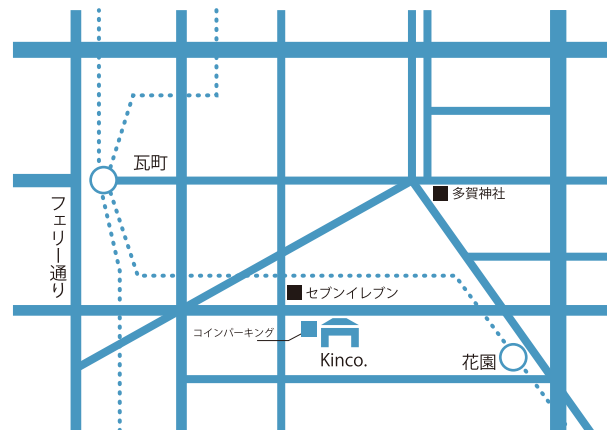
#### コレクション

筑波大学、香川県立高松工芸高等学校、町田国際版画美術館、ソウル市美術館、クラコフ美術館  
ターナー色彩株式会社、香川県立ミュージアム、坂出市民美術館



shizuku

1600×1300×250



Kinco.  
hostel+cafe  
Takamatsu, Setouchi